札幌市介護保険事業計画推進委員会
第１回　事業者調査部会

説 明 資 料

資料１　アンケート調査の実施概要 １

資料２　介護保険サービス提供事業者調査　項目一覧 ５

資料３　介護保険サービス提供事業者調査項目（案）

⑴　訪問介護事業者調査 ７

⑵　訪問入浴介護事業者調査 ９

⑶　訪問看護事業者調査 11

⑷　訪問リハビリテーション事業者調査 13

⑸　通所介護・通所リハビリテーション・地域密着型通所介護事業者調査 15

⑹　短期入所生活介護・短期入所療養介護事業者調査 17

⑺　居宅介護支援事業者調査 19

⑻　介護予防支援事業者（地域包括支援センター）調査 21

⑼　定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査 23

⑽　夜間対応型訪問介護事業者調査 25

⑾　認知症対応型通所介護事業者調査 27

⑿　小規模多機能型居宅介護事業者調査 29

⒀　認知症対応型共同生活介護事業者調査 31

⒁　看護小規模多機能型居宅介護事業者調査 33

⒂　介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設調査 35

⒃　介護老人保健施設調査 37

⒄　介護療養型医療施設調査 39

⒅　介護医療院調査 41

⒆　養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス・
有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業者）調査 43

⒇　設置法人・団体調査 45

資料１

アンケート調査の実施概要

令和６年４月を始期とする次期高齢者支援計画の策定及び各高齢者施策、介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とするため、各種調査を実施します。

調査項目については、市民調査部会及び事業者調査部会で検討いただくこととしていますが、令和元年度の前回調査等を基に、調査概要を以下のとおり想定しているところです。

なお、各種調査の実施に向けて、国から示された調査の実施方法や調査結果の活用方法については、前回調査と同様となっています。

市民調査（国の調査+本市の調査）

１　高齢社会に関する意識調査

調査の目的	幅広い世代の方々の高齢社会に対する意識や高齢者福祉施策全般に関する考え方を把握・整理する。
調査対象	札幌市内在住の 40 歳以上の市民から、年代や居住区の構成比率に基づき無作為抽出の予定 （令和元年度調査：40～64 歳 1,500 人、65 歳以上 5,000 人）
主な調査項目	・基本的事項 （生活圏域、性別、年齢、現在の生活場所　等） ・世帯状況・住まい （家族構成、今後の生活場所の希望　等） ・地域での活動 （各種活動への参加頻度、参加意欲　等） ・心身の状況 （主観的健康観、介護予防・認知症予防の取組　等） ・生活状況 （幸福度、抑うつ、経済状況、買物、食事、相談、看病　等） ・介護保険 （保険料の負担感、サービスと保険料の関係　等） ・その他 （サービスの認知度、現在の困りごとや将来の不安、利用満足度、フレイルの認知度、コロナ禍における変化、個別避難計画　等）

国調査との関係	65 歳以上の調査においては、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目との整合性を図る

2　要介護（支援）認定者意向調査

調査の目的	要介護等認定者について、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握する。
調査対象	札幌市内在住の要介護等認定者の中から、要介護度別及び介護保険料の所得段階別、居住区別の構成比率に基づき無作為抽出の予定 （令和元年度調査：5,000 人）
主な調査項目	・基本的事項 （性別、年齢、居住区、要介護度、現在の生活場所　等） ・介護保険との関わり （認定申請のきっかけ、インフォーマルサービスの利用　等） ・介護（予防）サービスの利用状況 （利用回数・日数、満足度、利用による生活の変化　等） ・サービス未利用者の状況 （未利用の理由、今後の利用意向　等） ・今後の暮らし方・介護保険料 （今後の生活場所の希望、保険料負担のあり方　等） ・介護してくれる方の状況 （家族介護の頻度、ケアラーの認知度、負担・不安に感じること、相談先、介護離職　等） ・災害への備え （避難する場合の援助者、避難先　等）
国調査との関係	国が示す「在宅介護実態調査」の調査項目との整合性を図る

事業者調査（本市の独自調査）

3　介護保険サービス提供事業者調査

調査の目的	介護保険サービス事業者におけるサービスの提供の現状、今後の見込み及び法人の運営状況やサービス提供上の課題等を把握する。

調査対象	札幌市内で指定、届出のある介護保険サービス事業者及びその設置法人等（みなし指定を除く） （令和元年度調査：4,093 か所）
主な調査項目 （上段：事業者あて） （下段：設置法人あて）	・事業所 （経営形態、施設種別、併設事業所の提供サービス　等） ・サービスの提供状況等 （総提供回数・時間、定員・入所者数、入所前・退所後の状況　等） ・事業所の運営 （問題点、質の向上のための取組、災害対策、個別避難計画、感染症対策　等） ・職員への対応 （採用・定着状況、職員数の過不足、離職理由、研修　等） ・介護支援専門員の意見 （事業所の過不足、業務上の困難・不安）
	・形態・サービスの提供状況等 （経営形態、提供内容・事業所数） ・事業所の運営 （事業の収支状況、問題点、人材確保・定着化の取組、生産性向上　等） ・今後のサービス （増設・参入・削減予定のサービス、削減理由　等）

検討・実施予定時期	
・令和 4 年 8 ～10 月	各部会で調査項目を検討、アンケート案を作成 （それぞれ 2 回ずつ開催）
・令和 4 年 10 月 25 日	推進委員会でアンケート案を最終確認、総合調整
・令和 4 年 11 月頃	アンケート発送、回収
・令和 4 年 12 月頃～	集計

※結果報告等は、令和 5 年度の推進委員会で行う予定です。

資料２

R4介護保険サービス提供事業者調査（各事業者あて）

空欄　全事業者
一部　一部の事業者のみ
単独　１種類の事業者のみ

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

○　現状分析に掲載
◎　指標と現状分析に掲載

対象	種別	設問趣旨	要否	第8期計画掲載
1　事業所について				
一部		経営形態	○	
単独	養護・軽費・有料	施設種別	○	
		所在地	○	
一部		施設形態	○	
単独	療養型	運営形態	○	
一部		サービス提供区	○	
一部		サービス種類	○	
単独	通所介護・通所リハ	リハビリ特化型サービス	☆	
単独	定期巡回	事業所の形態	○	
単独	養護・軽費・有料	特定施設の指定の有無	○	
単独	養護・軽費・有料	特定施設への転換	☆	
一部		併設事業所の有無	○	
一部		併設事業所の提供サービス	○	
一部		併設高齢者共同住宅の有無	○	
単独	居宅介護支援	特定事業所加算	○	
2　サービスの提供状況等について				
一部		直近１か月の提供状況	○	
		総提供回数	○	
		総提供時間	○	
		最大提供回数	○	
		延べ提供人数	○	
単独	居宅介護支援	平均ケアプラン作成件数（ケアマネ）	○	
単独	介護予防支援（包括）	平均ケアプラン作成件数（専門職員）	○	
単独	介護予防支援（包括）	平均ケアプラン作成件数（予防支援）	○	
単独	介護予防支援（包括）	ケアプラン上限数	☆	
		妥当性	☆	
		理由	☆	
		妥当な件数	☆	
一部		事業所（施設）の定員、入所者の状況	○	
		定員	○	
		ユニット数	○	
		入所（入居）者数	○	
単独	養護・軽費・有料	予定時間以外の対応	○	
単独	療養型	病床数	○	
		病院	○	
		診療所	○	
一部		関連施設	○	
一部		入所前の状況	○	
		居宅	○	
		ケアハウス・軽費老人ホーム	○	
		有料老人ホーム	○	
		養護老人ホーム	○	
		認知症高齢者グループホーム	○	
		サービス付き高齢者向け住宅	○	
		介護老人福祉施設	○	
		介護老人保健施設	○	
		病院・診療所など（介護保険適用）	○	
		病院・診療所など（医療保険適用）	○	
		介護医療院	○	
		その他	○	
一部		退所後の状況	○	
		居宅	○	
		ケアハウス・軽費老人ホーム	○	
		有料老人ホーム	○	
		養護老人ホーム	○	
		認知症高齢者グループホーム	○	
		サービス付き高齢者向け住宅	○	
		介護老人福祉施設	○	
		介護老人保健施設	○	
		病院・診療所など（介護保険適用）	○	
		病院・診療所など（医療保険適用）	○	
		介護医療院	○	
		死亡	○	
		その他	○	
一部		登録者数	○	
一部		訪問看護利用者数	○	
一部		延べ利用回数	○	
一部		常勤職員の提供時間（回数）	○	
一部		移動時間、サービス提供時間	○	
一部		利用者からの要望が多い保険外サービス	○	
一部		看取り経験	○	
単独	居宅介護支援	直近１年間の件数	○	
一部		看取りの方針	○	
一部		看取るための条件	○	○
一部		直近１か月の提供状況	○	
一部		利用者の圏域	○	
一部		提供メニュー	○	
単独	通所介護・通所リハ	リハビリ特化型サービス	×	
単独	短期入所	ベッド数	○	
単独	短期入所	延べ利用日数	○	
単独	短期入所	専用床の増加予定	○	
単独	短期入所	積極的な受入の意向	○	

対象	種別	設問趣旨	要否	第8期計画掲載
3　事業所/医療施設の運営について				
		運営の問題点	○	○
		介護報酬がそぐわない理由	○	
		地域・医療連携が難しい理由	○	
一部		介護予防サービス / 総合事業の問題点	○	
		質の向上のための取組	○	
		苦情解決の方法	○	
		解決できない問題	○	
一部		夜間勤務体制	○	
一部		夜間の人員体制	○	
		災害への備え	○	
		災害時の地域との協力体制	☆	
		災害時の受入体制	☆	
一部		個別避難計画作成への協力	☆	
一部		協力不可の理由	☆	
一部		協力するための条件	☆	
		最も難しい災害対策	○	
一部		災害で困ったこと	○	
		感染症への備え	☆	
		最も難しい感染症対策	☆	
		感染症で困っていること	☆	
一部		利用者と地域がつながる工夫	○	
4　職員への対応について				
		過去１年間の採用、定着状況	×	
		採用状況	×	◎
		定着状況	×	○
		過去１年間の採用、定着状況	☆	
		採用人数	☆	
		離職人数	☆	
単独	介護予防支援（包括）	当該職種としての平均在籍年数	☆	
単独	介護予防支援（包括）	定着状況	☆	
		効果のあった職員募集方法	○	
		サービス提供職員数	○	
一部		職員数	○	
単独	介護予防支援（包括）	職員数（専門職）	○	
単独	介護予防支援（包括）	職員数（指定介護予防支援担当職員）	○	
		サービス提供職員数の過不足	○	
一部		過不足	○	
単独	介護予防支援（包括）	過不足（専門職）	○	
単独	介護予防支援（包括）	過不足（指定介護予防支援担当職員）	○	
		過去１年間の離職理由	○	○
		職員への配慮	○	
		職員の状況	☆	
		職員の給与	○	
		内部研修の内容	○	
		外部研修等への参加	○	
		外部研修等に参加させない理由	○	
		職員に受けさせたい外部研修	○	○
5　介護支援専門員の意見について				
一部		事業所の過不足	○	
一部		訪問介護	○	
一部		訪問入浴介護	○	
一部		訪問看護	○	
一部		訪問リハビリテーション	○	
一部		居宅療養管理指導	○	
一部		通所介護	○	
一部		通所リハビリテーション	○	
一部		短期入所生活介護	○	
一部		短期入所療養介護	○	
一部		特定施設入居者生活介護	○	
一部		福祉用具貸与	○	
一部		特定福祉用具販売	○	
一部		介護老人福祉施設	○	
一部		介護老人保健施設	○	
一部		介護療養型医療施設	○	
一部		介護医療院	○	
一部		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○	
一部		夜間対応型訪問介護	○	
一部		地域密着型通所介護	○	
一部		認知症対応型通所介護	○	
一部		小規模多機能型居宅介護	○	
一部		認知症対応型共同生活介護	○	
一部		地域密着型特定施設入居者生活介護	○	
一部		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	○	
一部		看護小規模多機能型居宅介護	○	
一部		居宅介護支援	○	
一部		訪問型サービス（訪問介護相当型）	○	
一部		通所型サービス（通所介護相当型）	○	
一部		通所型サービス（時間短縮型）	○	
一部		業務上の困難・不安	○	◎
△　自由記載				
		介護保険制度全般への要望・意見	○	

R4設置法人・団体調査　項目一覧

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

設問趣旨	要否	第8期計画掲載
1　設置法人・団体の形態について		
経営形態	○	
2　サービスの提供状況等について		
提供内容・事業所数	○	
3　事業の収支状況について		
事業の収支状況	○	
令和３年度実績	○	
令和４年度見通し	○	
4　事業所の運営について		
運営の問題点	○	
従事者確保が難しい原因	○	
介護報酬の過不足	○	
相談先	○	
人材確保の取組	○	
現在の取組内容	×	
現在の取組内容	☆	
今後の取組内容	○	
人材定着化の取組	○	
現在の取組内容	×	
今後の取組内容	×	
現在の取組内容	☆	
今後の取組内容	☆	
外国人介護人材の採用実績	○	
採用人数など	○	
今後の採用予定	○	
在留資格	○	
採用に対する不安	○	
採用に関する質問・意見・要望	○	
生産性向上・業務の効率化	☆	
現在の取組内容	☆	
今後の取組内容	☆	
人材確保・定着に向けた行政の取組	○	
ケアプラン上限数	☆	
妥当性	☆	
理由	☆	
妥当な件数	☆	

設問趣旨	要否	第8期計画掲載
5　今後のサービスについて		
事業所の増設・参入予定	○	
増設・参入予定のサービス	○	
訪問介護	○	
訪問入浴介護	○	
訪問看護	○	
訪問リハビリテーション	○	
居宅療養管理指導	○	
通所介護	○	
通所リハビリテーション	○	
短期入所生活介護	○	
短期入所療養介護	○	
特定施設入居者生活介護	○	
福祉用具貸与	○	
特定福祉用具販売	○	
居宅介護支援	○	
介護老人福祉施設	○	
介護老人保健施設	○	
介護医療院	○	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○	
夜間対応型訪問介護	○	
地域密着型通所介護	○	
認知症対応型通所介護	○	
小規模多機能型居宅介護	○	
認知症対応型共同生活介護	○	
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	○	
看護小規模多機能型居宅介護	○	
訪問型サービス（訪問介護相当型）	○	
通所型サービス（通所介護相当型）	○	
通所型サービス（時間短縮型）	○	
総合事業の基準緩和	○	
訪問型サービス	○	
通所型サービス	○	

設問趣旨	要否	第8期計画掲載
事業所の削減予定	○	
削減理由	○	
削減予定のサービス	○	
訪問介護	○	
訪問入浴介護	○	
訪問看護	○	
訪問リハビリテーション	○	
居宅療養管理指導	○	
通所介護	○	
通所リハビリテーション	○	
短期入所生活介護	○	
短期入所療養介護	○	
特定施設入居者生活介護	○	
福祉用具貸与	○	
特定福祉用具販売	○	
居宅介護支援	○	
介護老人福祉施設	○	
介護老人保健施設	○	
介護医療院	○	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○	
夜間対応型訪問介護	○	
地域密着型通所介護	○	
認知症対応型通所介護	○	
小規模多機能型居宅介護	○	
認知症対応型共同生活介護	○	
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	○	
看護小規模多機能型居宅介護	○	
訪問型サービス（訪問介護相当型）	○	
通所型サービス（通所介護相当型）	○	
通所型サービス（時間短縮型）	○	
6　自由記載		
介護保険制度全般への要望・意見	○	

資料３

R4訪問介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	総提供回数	令和４年●月の１か月あたりの▲▲サービスの総提供回数は何回ですか		訪問介護（身体介護（　　回）　生活援助（　　回）　通院等乗降介助（　　回））　訪問型サービス（総合事業）（　回）		○	
問2-1-2	単独	総提供時間	令和４年●月の１か月あたりの▲▲サービスの総提供時間（移動時間は除く）は何時間ですか		訪問介護（身体介護（　　時間）　生活援助（　　時間）　通院等乗降介助（　　時間））　訪問型サービス（総合事業）（　　時間）		○	
問2-2	一部	常勤職員の提供時間	令和４年●月の１か月における、常勤職員の訪問介護サービスの提供時間（移動時間は除く）は、利用者１人あたり１日の平均・最大でそれぞれ何時間ですか	記述	１人あたり１日平均時間（　　時間）　１人あたり１日最大時間（　　時間）		○	
問2-3	一部	利用者からの要望が多い保険外サービス	介護サービスの対象外ではあるが、利用者からの要望が多いことは何ですか	複数	玄関前の除雪　簡単な大工仕事　庭の手入れ　年末年始の大掃除　家の中や敷地内のごみの整理や片付け　仏花の購入や仏壇の手入れ　映画鑑賞やお墓参りなどの付き添い　院内介助・通院介助　窓拭き　利用者の家族など利用者以外の方への生活援助　その他（具体的に　　）　特になし		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	訪問介護	訪問介護		（記載例）冬期間は雪による渋滞、除雪等により時間がかかる人件費を、事業者負担でヘルパーに支給している実態がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2	一部	総合事業の問題点	介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない　介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追加	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	

R4訪問介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢を追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	29	単一	11	×	1
一部	8	複数	17	○	30
単独	0	記述	9	☆	7
	37		37		37

R4訪問入浴介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	総提供回数	令和４年●月の１か月あたりの▲▲サービスの総提供回数は何回ですか		（　　回）		○	
問2-1-2	一部	最大提供回数	（職員体制や設備の面から、）１か月あたりに▲▲サービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか		（　　回）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	訪問入浴介護	訪問入浴介護		（記載例）エレベーターのないアパートに住んでいる方も多く、移動に時間がかかる		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取~~り組み~~を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	

R4訪問入浴介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問△		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	12	×	1
一部	5	複数	15	○	28
単独	0	記述	8	☆	7
	35		35		35

R4訪問看護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部				医療保険適用（　　回）　介護保険適用（　　回）　合計（　　回）		○	
問2-1-2	単独				医療保険適用（　　時間）　介護保険適用（　　時間）　合計（　　時間）		○	
問2-2					死後の処理　同居家族の看護　通院の同行　外泊時のケア　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問2-3	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-4	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	看取るための条件	【問2-3～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	訪問看護	訪問看護		（記載例）30分未満467単位であるが、実際のケアに要する時間のほか、連携や書類作成にも時間がかかっている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	

R4訪問看護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　自由記載								
問５		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	14	×	1
一部	8	複数	16	○	32
単独	0	記述	8	☆	7
	38		38		39

R4訪問リハビリテーション事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部				医療保険適用（　　回）　介護保険適用（　　回）　合計（　　回）		○	
問2-1-2	一部	最大提供回数	（職員体制や設備の面から、）１か月あたりに▲▲サービス（介護予防サービスを含む）を提供可能な回数は最大で何回ですか		（　　回）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		（記載例）リハビリテーションスタッフの給与と介護報酬が見合わない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	

R4訪問リハビリテーション事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問５		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	12	×	1
一部	5	複数	15	○	28
単独	0	記述	8	☆	7
	35		35		35

R4通所介護/通所リハビリテーション/地域密着型通所介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	サービス種類	提供しているサービスの種類について教えてください		通所介護　通所リハビリテーション　地域密着型通所介護		○	
問1-5	単独	リハビリ特化型サービス	【問1-4で「地域密着型通所介護」の方のみ】 いわゆるリハビリ特化型サービスを提供していますか		提供している　提供していない	設問の配置箇所を変更（問2-4→問1-5）	☆	
問1-6	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-7	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-6で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-8	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況	令和４年10月の１か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（　　人）　利用定員（　　人）　営業日数（　　日）		○	
問2-2	一部	利用者の圏域	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。もっとも多いもの教えてください		徒歩圏内　車で15分未満　車で15分以上30分未満　車で30分超		○	
問2-3	一部	提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供　おやつ提供　入浴　送迎　身体を動かす内容（レクリエーション・体操など）　ゲームや趣味、創作活動　音楽活動　介護予防による運動機能向上メニュー　介護予防による栄養改善メニュー　介護予防による口腔機能向上メニュー　理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション　健康チェック（体温・血圧測定など）　生活相談　その他（具体的に　）		○	
問2-4	単独	リハビリ特化型サービス	【問1-4で「地域密着型通所介護」の方のみ】 いわゆるリハビリ特化型サービスを提供していますか		提供している　提供していない	設問の配置箇所を変更（問2-4→問1-5）	×	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	通所介護、通所リハビリテーション	通所介護、通所リハビリテーション		（記載例）通所介護の送迎において、重度の方に対しての負担が大きいが、それに見合った報酬ではない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2	一部	総合事業の問題点	介護予防サービスまたは介護予防・日常生活支援総合事業サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか	複数	報酬が低いので事業所運営をするうえで不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　） 特に問題はない　介護予防・日常生活支援総合事業サービスの指定を受けていない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	

R4通所介護/通所リハビリテーション/地域密着型通所介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-7	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	29	単一	14	×	2
一部	10	複数	18	○	32
単独	1	記述	8	☆	8
	40		40		40

R4短期入所生活介護/短期入所療養介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4		サービス種類	提供しているサービスの種類について教えてください		短期入所生活介護　短期入所療養介護		○	
問1-5	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-6	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-5で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-7	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1-1	単独	ベッド数	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 ショートステイの事業形態について教えてください		専用床型（ベッド数　　床）　空床利用型		○	
問2-1-2	単独	延べ利用日数（ショートステイ）	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和４年●月～●月の３か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）	記述	ショートステイ（　　日）　一時的活用（　　日）		○	
問2-1-3	単独	延べ利用日数（一時的活用）	【問1-4で「生活介護」の方のみ】 令和４年●月～●月の３か月間のショートステイ専用床を特別養護老人ホーム床として一時的に活用している分の延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）	記述	ショートステイ（　　日）　一時的活用（　　日）		○	
問2-1-4	単独	専用床の増加予定	【問2-1-1で「専用床型」の方のみ】 今後、令和●年度までにショートステイ専用床を増やす予定はありますか。また、増やす予定がある場合、何床の増加を予定していますか		増やす予定がある（　　床増加）　増やす予定はない		○	
問2-1-5	単独	積極的な受入の意向	【問2-1-1で「空床利用型」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか		意向はある　意向はない		○	
問2-2-1	単独	延べ利用日数	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 令和４年●月～●月の３か月間のショートステイの延べ利用日数は何日ですか（介護予防サービスを含む）	記述	（　　日）		○	
問2-3-2	単独	積極的な受入の意向	【問1-4で「療養介護」の方のみ】 今後、積極的にショートステイ利用者を受け入れる意向はありますか		意向はある　意向はない		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	短期入所生活介護、短期入所療養介護	短期入所生活介護、短期入所療養介護		（記載例）重度の認知症、嚥下障害の方が多く、職員人数は基準以上に配慮する必要がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	

R4短期入所生活介護/短期入所療養介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-7-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-7-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない	設問の配置箇所を変更（定期巡回：問2-7→問3-8）	○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数（など）	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	31	単一	18	×	1
一部	7	複数	16	○	38
単独	7	記述	11	☆	7
	45		45		45

R4居宅介護支援事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
問1-7	単独	特定事業所加算	特定事業所加算の算定をしていますか	複数	特定事業所加算Ⅰを算定　特定事業所加算Ⅱを算定　特定事業所加算Ⅲを算定　特定事業所加算Ⅳを算定　特定事業所加算は算定していない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	平均ケアプラン作成件数（ケアマネ）	介護支援専門員１人あたりの令和４年●月の平均ケアプラン作成件数は何件ですか	記述	介護予防・総合事業プラン（地域包括支援センターからの再委託）（　　件）　要介護１、２（　　件）　要介護３～５（　　件）		○	
問2-2-1	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-2-2	単独	直近１年間の件数	【問2-2-1で「ある」の方のみ】 直近1年間で何件ありましたか	記述	（　　件）		○	
問2-3	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-4	一部	看取るための条件	【問2-3で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	居宅介護支援	居宅介護支援		（記載例）介護報酬が一律であるが、現状が安定した利用者には高く、逆に不安定で頻繁に連絡・訪問する場合には見合った報酬になっていない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4	一部	個別避難計画作成への協力	個別避難計画（要避難者の状況、避難先、避難支援者などをまとめたもの）の作成への協力についてどのように考えますか		協力できる・協力したい　協力はできない・協力したくない　わからない	新規	☆	
問3-5-5	一部	協力不可の理由	【問3-5-4で「協力はできない・したくない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください		例）事務負担が重いから	新規	☆	
問3-5-6	一部	協力するための条件	【問3-5-4で「協力はできない・したくない」の方のみ】 どのような支援があれば作成できますか。具体的にお書きください		例）報酬金額が見合えば協力したい	新規	☆	
問3-5-7		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-5-8	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○

R4居宅介護支援事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数（など）	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-2	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成　系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる　サービス提供事業者などとの連携および調整　利用者本人・家族などとの連携および調整　サービス担当者会議が十分に機能していない　地域（町内会や民生委員など）との連携　医療との連携　知識の不足　１人で担当する利用者数が多い　給付管理・請求事務などの事務量が多い　待遇面で正当に評価されていない　その他（具体的に　　）　特にない		○	◎
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	31	単一	18	×	1
一部	12	複数	18	○	35
単独	2	記述	9	☆	10
	45		45		45

R4介護予防支援事業者（地域包括支援センター）調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	平均ケアプラン作成件数（専門職員）	専門職員１人あたりの令和４年10月の平均ケアプラン作成件数（直営分のみ）は何件ですか	記述	要支援１（　　件）　要支援２（　　件）　事業対象者（　　件）		○	
問2-2	単独	平均ケアプラン作成件数（予防支援）	予防支援担当職員（プランナー）１人あたりの令和４年10月の平均ケアプラン作成件数（直営分のみ）は何件ですか	記述	要支援１（　　件）　要支援２（　　件）　事業対象者（　　件）		○	
問2-3	単独	ケアプラン上限数	現在、地域包括支援センター運営方針で示している専門職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			新規	☆	
問2-3-1	単独	妥当性	札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である　上限数や目安を上げる必要がある　上限数や目安を下げる必要がある　上限数や目安を設ける必要はない　特に意見はない　わからない	新規	☆	
問2-3-2	単独	理由	【問2-3-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述		新規	☆	
問2-3-3	単独	妥当な件数	【問2-3-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」の方のみ】 妥当と思われる件数は何件ですか	記述	（　　件）	新規	☆	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	介護予防支援	介護予防支援		（記載例）要支援であっても、頻繁な訪問やプラン変更を要する利用者もいるため、介護報酬に見合わない場合がある		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4	一部	個別避難計画作成への協力	個別避難計画（要避難者の状況、避難先、避難支援者などをまとめたもの）の作成への協力についてどのように考えますか		協力できる・協力したい　協力はできない・協力したくない　わからない	新規	☆	
問3-5-5	一部	協力不可の理由	【問3-5-4で「協力はできない・したくない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください		例）事務負担が重いから	新規	☆	
問3-5-6	一部	協力するための条件	【問3-5-4で「協力はできない・したくない」の方のみ】 どのような支援があれば作成できますか。具体的にお書きください		例）報酬金額が見合えば協力したい	新規	☆	
問3-5-7		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数（など）	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数および職員の平均在籍年数、定着状況をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更（平均在籍年数と定着状況は包括のみ）	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-3-A	単独	当該職種としての平均在籍年数	専門職員	記述	平均在籍年数（　　年）	新規	☆	
問4-1-1-3-B	単独		介護予防支援担当職員				☆	
問4-1-1-3-C	単独		事務職員				☆	

R4介護予防支援事業者（地域包括支援センター）調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-1-1-4-A	単独	定着状況	専門職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない	新規	☆	
問4-1-1-4-B	単独		介護予防支援担当職員				☆	
問4-1-1-4-C	単独		事務職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（3つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。	記述			○	
問4-1-3-ア-B	単独	職員数（専門職）			職員数（専門職）（　　名）		○	
問4-1-3-ア-C	単独	職員数（指定介護予防支援担当職員）			職員数（指定介護予防支援担当職員）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「2.」の場合は（　）内に人数及びその理由				○	
問4-1-3-イ-B	単独	過不足（専門職）					○	
問4-1-3-イ-C	単独	過不足（指定介護予防支援担当職員）					○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（3つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-2	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成　系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる　サービス提供事業者などとの連携および調整　利用者本人・家族などとの連携および調整　サービス担当者会議が十分に機能していない　地域（町内会や民生委員など）との連携　医療との連携　知識の不足　１人で担当する利用者数が多い　給付管理・請求事務などの事務量が多い　待遇面で正当に評価されていない　その他（具体的に　　）　特にない		○	◎
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	28	単一	12	×	1
一部	6	複数	13	○	26
単独	3	記述	12	☆	11
	37		37		37

R4定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	単独	事業所の形態	事業所の形態について教えてください		一体型　連携型		○	
問1-5	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-6	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-5で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-7	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独				訪問介護（定期巡回（　回）　随時訪問（　回））　訪問看護（定期巡回（　回）　随時訪問（　回））		○	
問2-1-2	単独	延べ提供人数	令和４年10月の１か月あたりの▲▲サービスの延べ提供人数は何人ですか		訪問介護（定期巡回（　人）　随時訪問（　人））　訪問看護（定期巡回（　人）　随時訪問（　人））		○	
問2-2		常勤職員の提供回数	令和４年10月の１か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数は、１人あたり１日の平均・最大それぞれ何回ですか		１人あたり１日平均回数（　回数）　１人あたり１日最大回数（　回数）		○	
問2-3	一部	移動時間、サービス提供時間	令和４年10月の１か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	随時訪問移動時間（最長（　分）　最短（　分）　平均（　分））　随時訪問サービス提供時間（最長（　分）　最短（　分）　平均（　分））		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-3～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　）		○	○
問2-7	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　）　特に何も行っていない	設問の配置箇所を変更（問2-7→問3-8）	×	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		（記載例）定額報酬で日常生活を支える支援をすべてまかなうことは困難。設備・人件費・移動などのコストに見合わない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取~~り~~組~~み~~を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	

R4定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない	設問の配置箇所を変更（問2-7→問3-8）	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢を追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人当たりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	16	×	2
一部	12	複数	17	○	35
単独	1	記述	10	☆	8
	43		43		43

R4夜間対応型訪問介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況		記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独				定期巡回（　　回）　随時訪問（　　回）））		○	
問2-1-2	単独				定期巡回（　　人）　随時訪問（　　人）		○	
問2-2		常勤職員の提供回数	令和４年●月の１か月において、常勤職員が▲▲サービスを提供した回数は、１人あたり１日の平均・最大それぞれ何回ですか		１人あたり１日平均回数（　　回数）　１人あたり１日最大回数（　　回数）		○	
問2-3	一部	移動時間、サービス提供時間	令和４年●月の１か月において、随時訪問サービスの移動時間とサービス提供時間について、それぞれ最長、最短、平均時間を教えてください	記述	随時訪問移動時間（最長（　　分）　最短（　　分）　平均（　　分））　随時訪問サービス提供時間（最長（　　分）　最短（　　分）　平均（　　分））		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		（記載例）常時コール対応できる体制をとる必要があり、スタッフの配置が現状の報酬では困難		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-4-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-4-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-4-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-5-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-5-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-5-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	

R4夜間対応型訪問介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	12	×	1
一部	7	複数	16	○	30
単独	0	記述	9	☆	7
	37		37		37

R4認知症対応型通所介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	直近１か月の提供状況	令和４年●月の１か月間における、サービス（介護予防サービスを含む）の提供状況等について教えてください	記述	延べ利用者数（　　人）　利用定員（　　人）　営業日数（　　日）		○	
問2-2	一部	利用者の圏域	サービス利用者は、主にどのような範囲から通ってきていますか。もっとも多いものを教えてください		徒歩圏内　車で15分未満　車で15分以上30分未満　車で30分超		○	
問2-3	一部	提供メニュー	現在の貴事業所のサービス提供メニューについて教えてください	複数	食事提供　おやつ提供　入浴　送迎　身体を動かす内容（レクリエーション・体操など）　ゲームや趣味、創作活動　音楽活動　介護予防による運動機能向上メニュー　介護予防による栄養改善メニュー　介護予防による口腔機能向上メニュー　理学療法士や作業療法士によるリハビリテーション　健康チェック（体温・血圧測定など）　生活相談　その他（具体的に　）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		（記載例）認知症を有しているため、準備などを職員が行う場合や、再度送迎が必要なことがあり、数多くの職員を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　）	選択肢の追記	○	
問3-5-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-5-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-5-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	
問3-5-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	

R4認知症対応型通所介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-6-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-6-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-7	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	29	単一	12	×	1
一部	8	複数	17	○	31
単独	0	記述	8	☆	7
	37		37		38

R4小規模多機能型居宅介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	登録者数	令和４年●月１日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援１・２を含む）	記述	登録者数（　　名）　うち併設住宅利用者（　　名）		○	
問2-2	一部	訪問看護利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援１・２を含む）	記述	訪問看護利用者数（　　名）　うち併設住宅利用者数（　　名）		○	
問2-3	一部	延べ利用回数	令和４年●月の１か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護のそれぞれについて教えてください（介護予防サービスを含む）	記述	通い（　　回）　泊り（　　回）　訪問介護（　　回）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護		（記載例）ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示 サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　）	選択肢の追記	○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-7-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	

R4小規模多機能型居宅介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問No.	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成　系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる　サービス提供事業者などとの連携および調整　利用者本人・家族などとの連携および調整　サービス担当者会議が十分に機能していない　地域（町内会や民生委員など）との連携　医療との連携　知識の不足　１人で担当する利用者数が多い　給付管理・請求事務などの事務量が多い　待遇面で正当に評価されていない　その他（具体的に　）　特にない		○	◎
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	13	×	1
一部	11	複数	17	○	34
単独	0	記述	11	☆	7
	41		41		41

R4認知症対応型共同生活介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和４年●月１日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（　　人）		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体（　　ユニット）		○	
問2-1-3	一部	入所（入居）者数	入所（入居）者数合計		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	単独		要支援２		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護１		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護２		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護３		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護４		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護５		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
問2-△	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-△	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-△	一部	看取るための条件	【問2-3～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		（記載例）ケアの結果として身体状態が良くなっても、かえって介護報酬が下がってしまう。入居者が重度化していく中では、人数を多めに配置せざるを得ない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	

R4認知症対応型共同生活介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	30	単一	15	×	1
一部	11	複数	17	○	34
単独	0	記述	9	☆	7
	41		41		41

R4看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2		所在地	事業所の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	サービス提供区	サービスの提供区について教えてください	複数	中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
問1-6	一部	併設高齢者共同住宅の有無	併設する高齢者共同住宅はありますか ※ここでの「高齢者共同住宅」とは、食事や相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供する共同生活形式の住宅を指します		ある　ない		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	登録者数	令和４年●月１日現在の登録者数は何名ですか。また、登録者のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援１・２を含む）	記述	登録者数（　　名）　うち併設住宅利用者（　　名）		○	
問2-2	一部	訪問看護利用者数	問2-1の登録者数のうち、訪問看護の利用者数は何名ですか。また、訪問看護の利用者数のうち、併設する高齢者共同住宅の利用者は何名ですか（要支援１・２を含む）	記述	訪問看護利用者数（　　名）　うち併設住宅利用者数（　　名）		○	
問2-3			令和４年●月の１か月間の延べ利用日数は何日ですか。通い、泊り、訪問介護、訪問看護のそれぞれについて教えてください（介護予防サービスを含む）		通い（　　回）　泊り（　　回）　訪問介護（　　回）　訪問看護（　　回）		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-3～5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護		（記載例）ひとり暮らしの方、高齢者世帯の訪問を臨機応変に行っており、訪問回数・時間が増大し、その分だけ職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　）		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	

R4看護小規模多機能型居宅介護事業者調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5	一部	業務上の困難・不安	業務を進めるうえで困難あるいは不安を感じていることはありますか	複数	アセスメントや居宅サービス計画の作成　系列事業所のサービスを居宅サービス計画書に組み込むことを求められる　サービス提供事業者などとの連携および調整　利用者本人・家族などとの連携および調整　サービス担当者会議が十分に機能していない　地域（町内会や民生委員など）との連携　医療との連携　知識の不足　１人で担当する利用者数が多い　給付管理・請求事務などの事務量が多い　待遇面で正当に評価されていない　その他（具体的に　　）　特にない		○	◎
6　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	29	単一	14	×	1
一部	13	複数	18	○	36
単独	0	記述	10	☆	7
	42		42		43

R4介護老人福祉施設/地域密着型介護老人福祉施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1		所在地	施設の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-2	一部	施設形態	施設の形態について教えてください		従来型　一部ユニット型　ユニット型　地域密着型		○	
問1-3	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-4	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-3で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和４年●月１日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（　　人）		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体（　ユニット）		○	
問2-1-3	一部	入所（入居）者数	入所（入居）者数合計		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護１		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護２		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護３		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護４		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護５		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		その他（経過措置を含む）		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
問2-2	一部	入所前の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3	一部	退所後の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	介護老人福祉施設、介護老人保健施設	介護老人福祉施設、介護老人保健施設		（記載例）基準に定められている職員数（看護・介護）では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	

R4介護老人福祉施設/地域密着型介護老人福祉施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	28	単一	14	×	1
一部	13	複数	16	○	34
単独	0	記述	11	☆	7
	41		41		41

R4介護老人保健施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	施設の経営形態について教えてください		医療法人　社会福祉法人　その他（具体的に　　）		○	
問1-2		所在地	施設の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	一部	施設形態	施設の形態について教えてください		従来型　一部ユニット型　ユニット型		○	
問1-4	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-5	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4で「ある」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和４年●月１日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（　　人）		○	
問2-1-2	一部	ユニット数	ユニット数		全体（　　ユニット）		○	
問2-1-3	一部	入所（入居）者数	入所（入居）者数合計		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護１		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護２		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護３		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護４		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		要介護５		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
	一部		その他（経過措置を含む）		全体（　　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　　名）		○	
問2-2	一部	入所前の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3	一部	退所後の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-4	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-5	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-6	一部	看取るための条件	【問2-5で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	介護老人福祉施設、介護老人保健施設	介護老人福祉施設、介護老人保健施設		（記載例）基準に定められている職員数（看護・介護）では安全な体制が築けないことから、基準以上の職員数を必要としている		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	

R4介護老人保健施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている　地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「2.」の場合は（ ）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　名）必要⇒理由（　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	28	単一	15	×	1
一部	14	複数	16	○	35
単独	0	記述	11	☆	7
	42		42		42

R4介護療養型医療施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	医療施設の経営形態について教えてください		医療法人　社会福祉法人　財団法人　その他（具体的に　　）		○	
問1-2		所在地	医療施設の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-3	単独	運営形態	貴施設の運営形態について教えてください	記述	I型（　　床）　II型（　　床）		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	単独	病床数	貴施設を運営している医療施設の種類ごとの病床数をお答えください（該当する病床がない場合は「0」とお書きください）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	単独	病院	療養病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
	単独		一般病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
	単独		精神病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
	単独		結核病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
問2-1-2	単独	診療所	療養病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
			一般病床		病床数（介護保険適用（　　床）　医療保険適用（　　床））		○	
問2-2	一部	関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）　介護老人保健施設　病院　診療所　介護医療院　認知症対応型共同生活介護（グループホーム）　その他（具体的に　　）　関連施設はない		○	
問2-3	一部	入所前の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-12	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-4	一部	退所後の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-4-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	介護療養型医療施設、介護医療院	介護療養型医療施設、介護医療院		（記載例）安全対策・感染対策・防災対策などの一定の基準を求められ、ハード・ソフトとも経費がかかってしまう		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-3-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-6-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	

R4介護療養型医療施設調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	26	単一	11	×	1
一部	8	複数	14	○	30
単独	3	記述	12	☆	7
	37		37		37

R4介護医療院調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	医療施設の経営形態について教えてください		医療法人　社会福祉法人　財団法人　その他（具体的に　　）		○	
問1-2		所在地	医療施設の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	関連施設	貴施設の関連施設にはどのような施設がありますか	複数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）　介護老人保健施設　病院　診療所　介護医療院　認知症対応型共同生活介護（グループホーム）　その他（具体的に　　）　関連施設はない		○	
問2-2	一部	入所前の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の入所前の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-2-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-2-12	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3	一部	退所後の状況	令和３年●月１日から令和４年●月31日までの１年間における、入所者全員の退所後の状況について教えてください	記述	※表形式		○	
問2-3-1	一部	居宅	居宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-2	一部	ケアハウス・軽費老人ホーム	ケアハウス・軽費老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-3	一部	有料老人ホーム	有料老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-4	一部	養護老人ホーム	養護老人ホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-5	一部	認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者グループホーム		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-6	一部	サービス付き高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-7	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-8	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-9	一部	病院・診療所など（介護保険適用）	病院・診療所など（介護保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-10	一部	病院・診療所など（医療保険適用）	病院・診療所など（医療保険適用）		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-11	一部	介護医療院	介護医療院		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-12	一部	死亡	死亡		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
問2-3-13	一部	その他	その他		要介護１（　　名）　要介護２（　　名）　要介護３（　　名）　要介護４（　　名）　要介護５（　　名）		○	
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	一部	介護療養型医療施設、介護医療院	介護療養型医療施設、介護医療院		（記載例）安全対策・感染対策・防災対策などの一定の基準を求められ、ハード・ソフトとも経費がかかってしまう		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
問3-3-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　　）		○	
問3-3-2		解決できない問題	【問3-4で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	
問3-4	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-5	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-6-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-6-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-6-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-6-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規（養護・軽費・有料）	○	
問3-6-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-7-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○

R4介護医療院調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足	※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由		現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　介護支援専門員の意見について								
問5-1	一部	事業所の過不足	介護（予防）サービスの現状において、事業所の過不足についてどのように感じていますか。それぞれのサービス毎に１つずつ○をつけてください		※表形式		○	
問5-1-1	一部	訪問介護	訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-2	一部	訪問入浴介護	訪問入浴介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-3	一部	訪問看護	訪問看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-4	一部	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-5	一部	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-6	一部	通所介護	通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-7	一部	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-8	一部	短期入所生活介護	短期入所生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-9	一部	短期入所療養介護	短期入所療養介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-10	一部	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-11	一部	福祉用具貸与	福祉用具貸与		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-12	一部	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-13	一部	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-14	一部	介護老人保健施設	介護老人保健施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-15	一部	介護療養型医療施設	介護療養型医療施設		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-16	一部	介護医療院	介護医療院		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-17	一部	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-18	一部	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-19	一部	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-20	一部	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-21	一部	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-22	一部	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-23	一部	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-24	一部	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-25	一部	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-26	一部	居宅介護支援	居宅介護支援		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-27	一部	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-28	一部	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
問5-1-29	一部	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		多い　やや多い　どちらともいえない　やや少ない　少ない		○	
6　自由記載								
問6		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	27	単一	11	×	1
一部	8	複数	14	○	28
単独	0	記述	10	☆	7
	35		35		35

R4養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業者）調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　事業所について								
問1-1	一部	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に　）		○	
問1-2	単独	施設種別	施設の種別について教えてください		養護老人ホーム　軽費老人ホーム（A型・B型）　ケアハウス　有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）	選択肢追記	○	
問1-3		所在地	施設の所在地について教えてください		中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区		○	
問1-4	単独	特定施設の指定の有無	介護保険法における「特定施設入居者生活介護」の事業者指定の状況について教えてください		指定あり　指定なし		○	
問1-5	単独	特定施設への転換	【問1-4で「指定なし」の方のみ】 現在の施設を特定施設入居者生活介護へ転換したい意向はありますか （有料老人ホームの場合、現在は公募による新設の場合のみを認めています）	複数	ある　ない	新規	☆	
問1-6	一部	併設事業所の有無	併設する介護保険サービス事業所の有無について教えてください		ある　ない		○	
問1-7	一部	併設事業所の提供サービス	【問1-4～5で「併設あり」の方のみ】 併設する事業所が提供している介護保険サービスについて教えてください ※「27（28）.」～「29（30）.」は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です	複数	訪問介護　訪問入浴介護　訪問看護　訪問リハビリテーション　居宅療養管理指導　通所介護　通所リハビリテーション　短期入所生活介護　短期入所療養介護　特定施設入居者生活介護　福祉用具貸与　特定福祉用具販売　居宅介護支援　介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）　介護老人福祉施設　介護老人保健施設　介護療養型医療施設　介護医療院　定期巡回・随時対応型訪問介護看護　夜間対応型訪問介護　地域密着型通所介護　認知症対応型通所介護　小規模多機能型居宅介護　認知症対応型共同生活介護　地域密着型特定施設入居者生活介護　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護　看護小規模多機能型居宅介護　訪問型サービス（訪問介護相当型）※　通所型サービス（通所介護相当型）※　通所型サービス（時間短縮型）※	（調査票のあて先となる事業者のサービスを、選択肢から除く）	○	
2　サービスの提供状況等について								
問2-1	一部	事業所（施設）の定員、入所者の状況	令和４年●月１日現在における、事業所（施設）の定員および入所（入居）者の状況についてお答えください（短期入所生活介護分を除く）	記述	※表形式		○	
問2-1-1	一部	定員	定員		全体（　人）		○	
問2-1-3	一部	入所（入居）者数	入所（入居）者数合計		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）		○	
	単独		自立		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）		○	
	単独		要支援１		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要支援２		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要介護１		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要介護２		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要介護３		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要介護４		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
	単独		要介護５		全体（　名）　うち、札幌市外の介護保険被保険者（　名）　うち、「特定施設入居者生活介護」利用者数（外部サービス利用者数）（　名（　名））　うち、「外部事業者の居宅介護サービス」利用者数（　名）		○	
問2-2	単独	予定時間以外の対応	【問2-1-3の「外部サービス利用者数」のうち訪問介護の利用がある方のみ】 予定時間以外の対応をどのようにされていますか		予定時間以外の対応を必要とする方はほとんどいない　住宅のサービスとして提供している（提供メニュー：　）　その他（具体的に　）		○	
問2-3	一部	看取り経験	余命が数か月～半年とみられる高齢者を介護・看護するターミナルケア（看取り）に取り組んだ経験がありますか		ある　ない		○	
問2-4	一部	看取りの方針	ターミナルケア（看取り）についてどのように考えていますか		現時点では、事業所としての方針を明確にしていない　利用者の看取りまでは想定していない　制度上一定の条件が整えば、看取りの段階まで援助していきたい　現状でも、条件が整うケースでは、看取りの段階まで援助している		○	
問2-5	一部	看取るための条件	【問2-4で「援助していきたい」「援助している」の方のみ】 ターミナルケア（看取り）を可能とするためには、どのような条件が必要だと考えますか	複数	ターミナルケアについての職員の知識と技術の向上　介護職員が行える医療行為の範囲の拡大　本人の希望の確認と家族の協力　ほかの入居者・利用者（家族）の理解　訪問診療に応じてくれる医師との関わり　ほかの介護サービス（訪問看護を除く）の利用　緊急時の受け入れ医療機関の存在　職員の増員　介護報酬の増額　職員の不安や疑問を気軽に相談できる人や機関　その他（具体的に　）		○	○
3　事業所/医療施設の運営について								
問3-1-1		運営の問題点	事業所運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	利用者本人・家族などとの連携および調整が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　職員の仕事への意欲を維持するのが難しい　サービス担当者会議が十分に機能していない　介護報酬が実態にそぐわない　利用者に対する情報提供が難しい　地域（町内会や民生委員など）との連携が難しい　医療との連携が難しい　計画通りに職員の採用ができない　その他（具体的に　）　特に問題はない	人材確保の観点を追加	○	○
問3-1-2		介護報酬がそぐわない理由	【問3-1-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 その理由は何ですか。以下の記載例を参考にして、具体的な理由や状況をお書きください	記述			○	
	単独	養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）	養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）		（記載例）施設内で積極的にADL向上・リハビリテーション・レクリエーションや行事企画などに取り組み、要介護度が軽くなっても施設の評価につながらない		○	
問3-1-3		地域・医療連携が難しい理由	【問3-1-1で「地域との連携が難しい」「医療との連携が難しい」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください。	記述			○	
問3-2		介護予防サービスの問題点	※居宅介護支援のみ【問2-1で「介護予防・総合事業プラン」件数がある方のみ】 介護予防サービスについて、問題点はどのようなことだと思いますか		報酬が低いので事業所運営をする上で不利と感じる　受け入れ体制が整っていない　サービス量（需要）を把握するのが難しい　利用者へのきめ細かな対応が難しいと感じる　予防効果を明確に利用者に説明できない　その他（具体的に　）　特に問題はない		○	
問3-3		質の向上のための取組	サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか	複数	相談窓口の設置　ケア・カンファレンスの定期的な開催　サービス利用者の満足度調査の実施　自己評価の積極的な開示　サービス提供マニュアルの作成　サービス担当者会議への参加　医療との連携　研修の実施　外部評価の導入　コンサルティングへの依頼　苦情に対する組織的な対策　その他（具体的に　）　特に何も行っていない		○	
問3-4-1		苦情解決の方法	サービス利用に関する苦情解決の方法はどのように行っていますか	複数	すべて事業所の中で解決している　事業所の中で解決できない場合は他の機関を利用して解決している　弁護士などの専門家と協議して解決している　上記３つの方法を活用しても解決できない場合がある　その他（具体的に　）		○	
問3-4-2		解決できない問題	【問3-4-1で「解決できない場合がある」の方のみ】 解決できない問題はどのようなものですか。具体的な内容をお書きください	記述			○	

R4養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護事業者）調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	対象	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-5	一部	夜間勤務体制	夜間の勤務体制（夜勤職員の配置）について教えてください		基準どおりの人数で夜勤職員を配置　基準を超える人数で夜勤職員の配置		○	
問3-6	一部	夜間の人員体制	夜間の人員体制について、ご意見等をご自由にお書きください	記述			○	
問3-7-1		災害への備え	災害発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	災害時に備えた定期的な避難訓練などの実施　災害時における対応マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　地域住民との協力体制の構築　災害時における職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制の整備　災害時における備蓄・備品の用意　その他（具体的に　　）	選択肢の追記	○	
問3-7-2		災害時の地域との協力体制	【問3-5-1で「地域住民との協力体制の構築」を選択しなかった方のみ】 災害発生時に備えて、地域との協力体制についてどのように考えていますか		現在話し合い中　今後話し合う予定　その他（具体的に　　）　特に考えていない	新規	☆	
問3-7-3		災害時の受入体制	災害発生時に、地域の要介護者等の受け入れについてどのように考えていますか		すでに受入体制が整っている　状況が整えば受入ができる　受入はできない	新規	☆	
問3-7-4		最も難しい災害対策	災害発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		避難訓練で想定する行動　対応マニュアルなどに則した行動　地域住民との協力体制　職員の役割分担　夜間における緊急連絡体制　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-7-5	一部	災害で困ったこと	災害（主に北海道胆振東部地震）発生時に、実際に困ったことは何でしたか	複数	職員の参集・連絡　利用者（またはその家族）との連絡　地域住民との協力　備蓄・備品の不足　その他（具体的に　　）		○	
問3-8-1		感染症への備え	感染症発生の備えとして、既に取り組んでいるものは何ですか	複数	感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　その他（具体的に　）	新規	☆	
問3-8-2		最も難しい感染症対策	感染症発生時における対策のうち、一番難しいものは何ですか		感染症対策マニュアルの策定　事業継続計画（BCP）の策定　衛生用品や個人用防護具（PPE）の確保　職員の確保　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-8-3		感染症で困っていること	感染症（主に新型コロナウイルス感染症）発生に伴い、実際に困っていることは何ですか	複数	衛生用品や個人用防護具（PPE）の不足　職員の不足　利用者の減少　対応方法がわからない　その他（具体的に　　）	新規	☆	
問3-9	一部	利用者と地域がつながる工夫	利用者と地域のつながりを確保するための工夫として、どのような活動を行っていますか	複数	行きたい場所に行ったり、会いたい人に会わせたりする機会を設けている　地域行事（盆踊り、花見、敬老会など）に参加するようにしている　幼稚園児、小学生などとの世代間交流活動を行っている　買い物や散歩など、外出の機会を設けている 地域や家族に施設開放を行い、交流事業などを行っている　ほかの事業者や施設と連携して、地域と交流する機会を設けている　町内会に加入している　その他（具体的に　　）　特に何も行っていない		○	
4　職員への対応について								
問4-1-1		過去１年間の採用、定着状況	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用および定着状況はそれぞれいかがですか。		※表形式		×	
問4-1-1-1-A		採用状況	常勤職員		計画どおり採用できている　計画どおり採用できていない　採用計画はない		×	◎
問4-1-1-1-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1-2-A		定着状況	常勤職員		良い　比較駅良い　あまり良くない　良くない		×	○
問4-1-1-2-B			非常勤職員				×	○
問4-1-1		過去１年間の採用・離職人数	過去１年間における常勤・非常勤職員の採用・離職の人数をそれぞれ教えてください		※表形式	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-A		採用人数	常勤職員	記述	採用人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-1-B			非常勤職員				☆	
問4-1-1-2-A		離職人数	常勤職員	記述	離職人数（　　人）	設問内容を変更	☆	
問4-1-1-2-B			非常勤職員				☆	
問4-1-2		効果のあった職員募集方法	職員を募集するにあたり、効果があった方法は何ですか（３つ以内）	複数	ハローワークの活用　求人媒体の活用　大学・専門学校への依頼　人材派遣会社への依頼　人材紹介会社の活用　自社ホームページ・SNSなどの活用　知人からの紹介　その他（具体的に　　）		○	
問4-1-3-ア		サービス提供職員数		記述			○	
問4-1-3-ア-A	一部	職員数	介護サービスを提供する職員数は何人ですか。常勤換算でお答えください		職員数（常勤換算）（　　名）		○	
問4-1-3-イ		サービス提供職員数の過不足	望ましいサービスを提供するために、現状の職員数をどのように考えますか。 ※「２.」の場合は（　）内に人数及びその理由				○	
問4-1-3-イ-A	一部	過不足			現状の職員数で十分である　さらに職員が必要（　　名）必要⇒理由（　　）	選択肢追加	○	
問4-2		過去１年間の離職理由	過去１年間に、貴事業所から離職された職員の方々の主な離職理由は何が多いと考えていますか（３つ以内）	複数	給与　就労時間や休暇などの勤務条件　職場環境　職場の人間関係　利用者などとの人間関係　健康　年齢　結婚　出産・育児　転職　家族の介護　家族の転勤　その他（具体的に　　）　過去１年以内の離職はなかった	選択肢を追加	○	○
問4-3		職員への配慮	職員に対して、どのような配慮を行っていますか		基本給以外の手当を支給している　健康診断等（定期健康診断以外）を実施している　通勤時や移動時の事故についての予防や対応策をとっている　被服や機器等の貸与を行っている　身体的負担への対応策をとっている　精神的ストレスの緩和・サポートを行っている　職場内コミュニケーションの円滑化を図っている　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-4		職員の状況	貴事業所では、５年前と比較して職員の状況はどのように変化していますか	複数	１人あたりの仕事量が増えている　業務遂行に必要な人材が不足している　職場でのコミュニケーションや助け合いが減っている　業務についての研修の機会や場が少なくなっている　過労気味の職員が増えている　サービスの量や質が落ちている その他（具体的に　　）	新規	☆	
問4-5		職員の給与	職員の給与についてどのようにお考えですか		職員は十分な給与が得られている　十分とはいえないが、職員は必要な給与を得られている　仕事の負担に対し、職員は給与が若干不足していると感じる　仕事の負担に対し、職員は十分な給与が得られていない		○	
問4-6		内部研修の内容	全職員を対象に実施している内部研修はどのようなものですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）　何も行っていない		○	
問4-7		外部研修等への参加	外部研修等へ職員を参加させるようにしていますか		している　していない		○	
問4-8		外部研修等に参加させない理由	【問4-7で「していない」の方のみ】 外部研修等への参加をさせていない理由は何ですか	複数	時間の余裕がない　費用が高額である　参加させたい研修がない　参加させる必要がない　その他（具体的に　　）		○	
問4-9		職員に受けさせたい外部研修	職員に受けさせたい外部研修は何ですか	複数	介護保険制度に関する研修　個人情報の取扱に関する研修　リハビリテーション等に関する研修　事故防止に関する研修　認知症に関する研修　食事介助に関する研修　接遇研修　虐待に関する研修　身体拘束に関する研修　メンタルヘルスに関する研修　管理者・リーダー層の養成に関する研修　災害時対応に関する研修　感染症発生時対応に関する研修　その他（具体的に　　）		○	○
5　自由記載								
問5		介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

全部	29	単一	17	×	1
一部	10	複数	17	○	34
単独	4	記述	9	☆	9
	43		43		43

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
1　設置法人・団体の形態について							
問1-1	経営形態	事業所の経営形態について教えてください		株式会社　医療法人　社会福祉法人　合同会社　財団法人　有限会社　NPO法人　合名会社　合資会社　その他（具体的に）		○	
2　サービスの提供状況等について							
問2-1	提供内容・事業所数	現在、札幌市内でどのような介護保険サービスを運営（提供）していますか。また、事業所数も併せて記入してください（※27～29は介護予防・日常生活支援総合事業のサービス類型です）	複数	訪問介護（　　か所）　訪問入浴介護（　　か所）　訪問看護（　　か所）　訪問リハビリテーション（　　か所）　居宅療養管理指導（　　か所）　通所介護（　　か所）　通所リハビリテーション（　　か所）　短期入所生活介護（　　か所）　短期入所療養介護（　　か所）　特定施設入居者生活介護（　　か所）　福祉用具貸与（　　か所）　特定福祉用具販売（　　か所）　居宅介護支援（　　か所）　介護予防支援（　　か所）　介護老人福祉施設（　　か所）　介護老人保健施設（　　か所）　介護療養型医療施設（　　か所）　介護医療院（　　か所）　定期巡回・随時対応型訪問介護看護（　　か所）　夜間対応型訪問介護（　　か所）　地域密着型通所介護（　　か所）　認知症対応型通所介護（　　か所）　小規模多機能型居宅介護（　　か所）　認知症対応型共同生活介護（　　か所）　地域密着型特定施設入居者生活介護（　　か所）　地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護（　　か所）　看護小規模多機能型居宅介護（　　か所）　訪問型サービス（訪問介護相当型）※（　　か所）　通所型サービス（通所介護相当型）※（　　か所）　通所型サービス（時間短縮型）※（　　か所）		○	
3　事業の収支状況について							
問3-1	事業の収支状況			※表形式		○	
問3-1-A	令和３年度実績	サービス事業全体		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-1		訪問介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-2		訪問入浴介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-3		訪問看護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-4		訪問リハビリテーション		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-5		居宅療養管理指導		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-6		通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-7		通所リハビリテーション		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-8		短期入所生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-9		短期入所療養介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-10		特定施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-11		福祉用具貸与		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-12		特定福祉用具販売		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-13		居宅介護支援		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-14		介護予防支援		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-15		介護老人福祉施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-16		介護老人保健施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-17		介護療養型医療施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-18		介護医療院		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-19		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-20		夜間対応型訪問介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-21		地域密着型通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-22		認知症対応型通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-23		小規模多機能型居宅介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-24		認知症対応型共同生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-25		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-26		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-27		看護小規模多機能型居宅介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-28		訪問型サービス（訪問介護相当型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-29		通所型サービス（通所介護相当型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-A-30		通所型サービス（時間短縮型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問3-1-B	令和４年度見通し	サービス事業全体		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-1		訪問介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-2		訪問入浴介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-3		訪問看護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-4		訪問リハビリテーション		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-5		居宅療養管理指導		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-6		通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-7		通所リハビリテーション		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-8		短期入所生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-9		短期入所療養介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-10		特定施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-11		福祉用具貸与		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-12		特定福祉用具販売		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-13		居宅介護支援		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-14		介護予防支援		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-15		介護老人福祉施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-16		介護老人保健施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-17		介護療養型医療施設		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-18		介護医療院		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-19		定期巡回・随時対応型訪問介護看護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-20		夜間対応型訪問介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-21		地域密着型通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-22		認知症対応型通所介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-23		小規模多機能型居宅介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-24		認知症対応型共同生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-25		地域密着型特定施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-26		地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-27		看護小規模多機能型居宅介護		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-28		訪問型サービス（訪問介護相当型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-29		通所型サービス（通所介護相当型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
問3-1-B-30		通所型サービス（時間短縮型）		黒字　やや黒字　ほぼ均衡　やや赤字　赤字		○	
4　事業所の運営について							
問4-1	運営の問題点	現在運営している事業所について、運営に関する問題点はどのようなものがありますか	複数	介護従事者（ヘルパーなど）の確保が難しい　専門職（看護師、理学療法士など）の確保が難しい　人材育成が難しい　職員が定着しにくい　経営経費・活動資金が不足している　介護報酬が実態にそぐわない　利用者の継続的な確保が難しい　その他（具体的に　　）　特に問題はない		○	
問4-2	従事者確保が難しい原因	【問4-1で「介護従事者の確保が難しい」の方のみ】 主な原因をどのように考えていますか	複数	仕事に見合わない給与　重労働　不規則勤務がある　職場の人間関係の難しさ　その他（具体的に　　）		○	
問4-3	介護報酬の過不足	【問4-1で「介護報酬が実態にそぐわない」の方のみ】 設定されている金額についてどのようにお考えですか		低すぎる　やや低い　やや高い　高すぎる		○	
問4-4	相談先	【問4-1で「特に問題はない」以外の方のみ】 運営に関する問題点を解決するために、どのようなところに相談していますか	複数	関連法人・事業所　他の介護保険サービス運営法人・事業所　公の経営相談窓口　民間の経営コンサルタント、公認会計士・中小企業診断士などの専門家　その他（具体的に　　）　特に相談はしていない		○	
問4-5	人材確保の取組	人材の確保のために、現在どのような取組を行っていますか。また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式		○	
問4-5-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員の職場における悩みや問題等を聴取する機会を設ける　事業所内・法人内での情報共有を図り、円滑な意思疎通のできる風通しの良い職場づくりを進める　事業所運営側と職員の考え方の不一致が起こらないよう、法人としての理念・方針を明示し、実際の業務に反映させるよう努める　職員が事業所の運営に参加する機会を設け、職員の当事者意識と職場への愛着を高めるよう努める　職員のキャリアアップのための研修等を充実させる　職員の知識・経験に応じた賃金・業務体系（キャリアパス）を整備する　職員が幅広い視野を持てるよう、地域の他事業所との情報交換や連携した研修実施などを行う　法人内託児所の設置や、育児関係の休暇制度整備など、子どもを持つ職員への子育て支援策を充実させる　その他（具体的に　　）		×	
問4-5-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする　職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする　短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する　介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど）　ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する　介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う　ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する　現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める　事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう　介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む　その他（具体的に　　）　特にない	問4-5-2（今後の取組内容）と統一	☆	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-5-2	今後の取組内容	今後の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする　職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする　短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する　介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど）　ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する　介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う　ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する　現場体験の機会を設けるなど、就職希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める　事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう　介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む　その他（具体的に　　）　特にない		○	
問4-6	人材定着化の取組	採用した人材の定着化を図るために、現在どのような取~~り組み~~を行っていますか。また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式		○	
問4-6-1	現在の取組内容	現在の取組内容		職員の職場における悩みや問題等を聴取する機会を設ける　事業所内・法人内での情報共有を図り、円滑な意思疎通のできる風通しの良い職場づくりを進める　事業所運営側と職員の考え方の不一致が起こらないよう、法人としての理念・方針を明示し、実際の業務に反映させるよう努める　職員が事業所の運営に参加する機会を設け、職員の当事者意識と職場への愛着を高めるよう努める　職員のキャリアアップのための研修等を充実させる　職員の知識・経験に応じた賃金・業務体系（キャリアパス）を整備する　職員が幅広い視野を持てるよう、地域の他事業所との情報交換や連携した研修実施などを行う　法人内託児所の設置や、育児関係の休暇制度整備など、子どもを持つ職員への子育て支援策を充実させる　その他（具体的に　　）		×	
問4-6-2	今後の取組内容	今後の取組内容		職員に対して、給与面の待遇を手厚くする　職員に対して、福利厚生など給与面以外の待遇を手厚くする　短時間での柔軟な勤務など、多様な勤務条件を設定する　介護職未経験者でも働きやすい取組を実施する（就職後も十分な研修の機会を設ける、マンツーマンの指導員を付けるなど）　ハローワークや人材派遣会社などが開催する合同就職相談説明会などに積極的に参加する　介護職の養成施設・福祉系学校などに対して、訪問・会社説明などにより、就職希望者を紹介してもらえるよう積極的に働きかけを行う　ホームページやSNSなどの活用により事業所の情報を発信する　現場体験の機会を設けるなど、週書記希望者に介護の現場を知ってもらう取組を進める　事業所の地域開放や地域行事への参加を通じて、事業所の取組を知ってもらう　介護業界の志望者を増やすため、中学・高校生や就職前の学生など若年層に対する介護事業の啓発・PR活動などに取り組む　その他（具体的に　　）		×	
問4-6-1	現在の取組内容	現在の取組内容		残業を少なくする・有給休暇を取りやすくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善　賃金水準の向上　能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映　職員の仕事内容と必要な能力などを明示　キャリアに応じた給与体系を整備　有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける　新人の指導担当・アドバイザーを置いている　能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など）　仕事内容の希望を聞いて配置　悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける　健康対策や健康管理に力を入れている　職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）　経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けている　業務改善や効率化等による働きやすい職場作り　介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作り　福利厚生を充実　職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など）　子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など）　その他（具体的に　　）　特にない	介護労働安定センターの調査内容を参照	☆	
問4-6-2	今後の取組内容	今後の取組内容		残業を少なくする・有給休暇を取りやすくする・本人の希望に応じた勤務体制にするなどの労働条件の改善　賃金水準の向上　能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映　職員の仕事内容と必要な能力などを明示　キャリアに応じた給与体系を整備　有期雇用職員から無期雇用職員への転換の機会を設ける　新人の指導担当・アドバイザーを置いている　能力開発の充実（社内研修実施、社外講習等の受講・支援など）　仕事内容の希望を聞いて配置　悩み・不満・不安などの相談窓口を設ける　健康対策や健康管理に力を入れている　職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）　経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けている　業務改善や効率化等による働きやすい職場作り　介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作り　福利厚生を充実　職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保など）　子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援など）　その他（具体的に　　）　特にない	介護労働安定センターの調査内容を参照（問4-6-1（現在の取組内容）と統一）	☆	
問4-7-1	外国人介護人材の採用実績	外国人介護人材の採用についてお伺いします。外国人介護人材の採用実績はいかがですか		現在雇用している　過去に雇用していた　これまで雇用したことはない		○	
問4-7-2	採用人数など	【問4-7-1で「雇用したことはない」以外の方のみ】 採用人数、国籍、従事した介護サービス種類についてご記載ください。また、在留資格は該当するものすべてに○をしてください	記述	採用人数（　　）　国籍（　　）　従事した介護サービスの種類（　　）　在留資格（EPA（経済連携協定）　技能実習　在留資格「介護」　特定技能　その他（具体的に　　）））		○	
問4-7-3	今後の採用予定	今後の外国人採用の予定とその理由をお聞かせください		採用したいと考えている　検討中　当面はない（理由：　　）		○	
問4-7-4	在留資格	【問4-7-3で「当面はない」以外の方のみ】 どのような在留資格で採用を検討していますか	複数	EPA（経済連携協定）　技能実習　在留資格「介護」　特定技能　その他（具体的に　　）		○	
問4-7-5	採用に対する不安	外国人介護人材の採用をする場合に不安なことはありますか	複数	利用者や日本人職員とのコミュニケーション　採用コスト、ランニングコスト　外国人材の日本語能力　外国人材の技能レベル　受け入れ体制（指導役の確保、業務外の日常支援等）　文化・生活習慣の違い　受け入れ方法や受け入れ制度への理解不足　その他（具体的に　　）　特に不安はない		○	
問4-7-6	採用に関する質問・意見・要望	外国人介護人材の採用に関して、知りたいこと、望むこと、札幌市に対してのご意見・ご要望があれば記入してください	記述			○	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問4-8	生産性向上・業務効率化	生産性向上や業務効率化を図るために、現在どのような取組を行っていますか。 また、今後取り組んでいきたいものはありますか	複数	※表形式	新規	☆	
問4-8-1	現在の取組内容	現在の取組内容		介護ロボットの活用　介護記録、ケアプラン作成等にＡＩ・ＩＣＴ機器(（介護ソフトがインストールされたタブレット端末等）の活用　介護助手の活用　その他（具体的に　　）　特にない	新規	☆	
問4-8-2	今後の取組内容	今後の取組内容		介護ロボットの活用　介護記録、ケアプラン作成等にＡＩ・ＩＣＴ機器(（介護ソフトがインストールされたタブレット端末等）の活用　介護助手の活用　その他（具体的に　　）　特にない	新規	☆	
問4-9	人材確保・定着に向けた行政の取組	人材の確保・定着のため、行政に取り組んでほしいことがあればお書きください	記述			○	
問4-10	ケアプラン上限数	【問2-1で「介護予防支援」を含む方のみ】 現在、地域包括支援センター運営方針で示している専門職員のケアプラン担当の上限数や目安について伺います			新規	☆	
問4-10-1	妥当性	札幌市が設定しているケアプランの上限数や目安についてどのように考えますか		現状の上限数や目安は適切である　上限数や目安を上げる必要がある　上限数や目安を下げる必要がある　上限数や目安を設ける必要はない　特に意見はない　わからない	新規	☆	
問4-10-2	理由	【問4-10-1で「上限数や目安を上げる（下げる）必要がある」「上限数や目安を設ける必要はない」の方のみ】 その理由は何ですか。具体的にお書きください	記述		新規	☆	
問4-10-3	妥当な件数	【問4-10-1で「上限数や目安を下げる必要がある」の方のみ】 妥当と思われる件数は何件ですか	記述	（　　件）	新規	☆	
5　今後のサービスについて							
問5-1	事業所の増設・参入予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所を増やす予定や、新たなサービスに参入する予定はありますか		ある　ない		○	
問5-2	増設・参入予定のサービス	【問5-1で「ある」の方のみ】 増設や新規参入を予定しているサービスはなんですか。また、予定している概ねの事業所数、開設予定時期、開設エリアを併せてお答えください		※表形式		○	
問5-2-1	訪問介護	訪問介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-2	訪問入浴介護	訪問入浴介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-3	訪問看護	訪問看護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-4	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-5	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-6	通所介護	通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-7	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-8	短期入所生活介護	短期入所生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-9	短期入所療養介護	短期入所療養介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-10	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-11	福祉用具貸与	福祉用具貸与		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-2-12	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-13	居宅介護支援	居宅介護支援		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-14	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-15	介護老人保健施設	介護老人保健施設		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-16	介護医療院	介護医療院		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-17	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-18	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-19	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-20	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-21	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-22	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-23	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-24	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-25	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-26	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-27	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-2-28	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 開設エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-3	総合事業の基準緩和	札幌市が、新総合事業において訪問型サービス・通所型サービスの基準緩和を導入するとした場合に、現行の基準の中で、緩和を望むのはどの項目ですか	複数	※表形式		○	
問5-3-1	訪問型サービス	人員基準		管理者（訪問）の配置　訪問介護員の配置　サービス提供責任者の配置　その他（具体的に　　）		○	
問5-3-2	通所型サービス	人員基準		管理者（通所）の配置　生活相談員の配置　看護職員の配置　介護職員の配置　機能訓練指導員の配置　その他（具体的に　　）		○	
		施設基準		食堂及び機能訓練室の設置　静養室の設置　相談室の設置　事務室の設置　その他（具体的に　　）		○	
問5-4	事業所の削減予定	現在、札幌市内で提供している介護保険サービスについて、今後、事業所の数を削減する予定はありますか		ある　ない		○	
問5-5	削減理由	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減する理由はなんですか	複数	必要な従業員を確保できない　採算が合わない　事業所の譲渡　他のサービス種類への変更　その他（具体的に　　）		○	
問5-6	削減予定のサービス	【問5-4で「ある」の方のみ】 削減を予定しているサービスは何ですか。また、予定している概ねの事業所数、削減予定時期、削減するエリアを併せてお答えください		※表形式		○	
問5-6-1	訪問介護	訪問介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-2	訪問入浴介護	訪問入浴介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-3	訪問看護	訪問看護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-4	訪問リハビリテーション	訪問リハビリテーション		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-5	居宅療養管理指導	居宅療養管理指導		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-6	通所介護	通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-7	通所リハビリテーション	通所リハビリテーション		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-8	短期入所生活介護	短期入所生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-9	短期入所療養介護	短期入所療養介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-10	特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-11	福祉用具貸与	福祉用具貸与		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-12	特定福祉用具販売	特定福祉用具販売		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-13	居宅介護支援	居宅介護支援		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	

R4設置法人・団体調査

○　R1から継続
×　廃止（R1からの修正項目は新規に計上）
☆　新規

●　指標
○　現状分析
◎　両方

設問№	設問趣旨	設問内容	回答形式	選択肢	見直し内容	要否	8期計画
問5-6-14	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-15	介護老人保健施設	介護老人保健施設		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-16	介護医療院	介護医療院		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-17	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-18	夜間対応型訪問介護	夜間対応型訪問介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-19	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-20	認知症対応型通所介護	認知症対応型通所介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-21	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-22	認知症対応型共同生活介護	認知症対応型共同生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-23	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-24	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-25	看護小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-26	訪問型サービス（訪問介護相当型）	訪問型サービス（訪問介護相当型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-27	通所型サービス（通所介護相当型）	通所型サービス（通所介護相当型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
問5-6-28	通所型サービス（時間短縮型）	通所型サービス（時間短縮型）		事業所数（　　か所程度） 予定時期（令和４年度　令和５年度　令和６年度　令和７年度　令和８年度　令和９年度以降） 削減エリア（中央区　北区　東区　白石区　厚別区　豊平区　清田区　南区　西区　手稲区　札幌市以外）		○	
6　自由記載							
問6	介護保険制度全般への要望・意見	介護報酬や職員体制、介護保険サービスの提供、その他介護保険制度全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について、ご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください	記述			○	

単一	8		×	0
複数	11		○	23
記述	6		☆	2
	25			25